

祝 日本ジオパーク認定

ついに！ 土佐清水ジオパーク誕生！ 日本で44地域目のジオパークに！

9月25日(土)、この日は、ジオパークの新規認定審査の結果発表が行われるということで、協議会関係者やジオガイドが竜串ビジターセンターに集い、吉報を待ちました。16時10分頃、日本ジオパーク委員会の中田節也委員長から土佐清水ジオパーク推進協議会の泥谷光信会長に審査の結果が電話で告げられました。その後、泥谷会長から、会場に集まった人たちに報告。結果は、「ジオパーク認定」！会場からは、拍手と歓喜の声があがりました。



10月4日(月)には、オンラインで行われた日本ジオパーク全国大会の開会式において新規認定証が授与されました。

土佐清水ジオパーク推進協議会 泥谷 光信 会長のコメント

ふり返れば、7年前の平成26(2014)年に、民間より提案され、地域づくりの方法としてジオパークに取り組みははじめました。目標としていた日本ジオパーク認定への道のりは、決して順風満帆ではありませんでしたが、着実に経験と実績を重ねていき、関係者との連携を深め、こうした取り組みが、このたびの認定に繋がったと思います。世界に誇る私たちの貴重な地質遺産や景観、地域らしさの象徴である黒潮由来の文化や産業など、これを守り、持続可能な地域づくりに活かす活動が評価されたことを、大変うれしく思います。

認定を新たな出発点として、さらなる発展を目指して、日本国内はもとより、世界に向けてジオパークの魅力を伝えていけるよう、地域住民とともに、また、日本ジオパークネットワークの仲間とともに努力を重ね、前進してまいります。



ときしみず ジオめぐり

土佐清水がもっと楽しくなる！
ジオ的視点の土佐清水案内！



案内人
土井 恵治
(ジオパーク専門員)

ありみさき 在岬 南の海からやって来た地層



在岬は、布から3.5 kmほど立石方面に走ったところにある海岸で、付加体の地層が観察できる場所です。付加体とは、海洋プレートの表面の部分がプレートの沈み込みにもたない、はぎとられて陸のプレートにくっついた(付加した)地層で、土佐清水をはじめ、西南日本の土台となっています。プレートの動きや海山の衝突といった日本列島の形成を考える上で重要な地質です。

土佐清水の北東部(下ノ加江から立石のあたり)は砂と泥の層が規則正しく堆積している地層と、火山岩や石灰岩などを含む地層により形作られています。これらの岩石は約2800~2000万年前にはるか南の海底で作られたと考えられています。火山岩層には、玄武岩が含まれていること、石灰岩には3800万年前の有孔虫の化石が含まれていることから、この地域の地層は、海山とその周辺の土砂に起源をもつ付加体と考えられています。ここ、在岬は、付加

体の様子を知ることができる地層があることから、このあたりの地層は、地名を冠して「在岬層」と名付けられています。付加体由来の様々な岩石が観察できるサイトですので、教育への利用を検討したいところですが、在岬まで行くには海岸の岩場を30分以上歩かねばならず、アクセスが良くないことが難点です。



ACCESS

布地区から、立石方面に3.5 kmほど行ったところに海岸側に駐車スペースがある。そこに車を止め、海岸へ降り、東へ30分ほど歩いて到着。

市役所玄関ロビーでジオパークの展示！

日本ジオパーク認定を記念して、市役所玄関ロビーにて、ジオパークの展示を行っています。土佐清水の大地の成り立ちや土佐清水で見られる岩石を展示していますので、ぜひ、ご覧ください。

○展示期間 2021年12月10日まで

